

苑たより



(綜愛苑利用者)

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより

令和2年7月号
統合版第112号



つわぶき会カレンダー
令和2年7月から

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_s

梅雨明けが待ち遠しい折、保護者の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症について、本県は小康状態となっておりますが、全国の状況を見ますと終息には至っておらず、第2波の到来も懸念されております。

さて、まもなく七夕です。今年も利用者の皆様が日中活動で作った笹飾りをロビーに飾り楽しみたいと思います。

梅雨が明ければ暑さも厳しくなりますが、保護者の皆様方もお身体に留意して元気にお過ごしください。

7月の行事予定

- ★ 13日(月)～17(金) バーベキュー(綜愛苑)
- ★ 22日(水) 夏まつり会(綜成苑入所)



職員の新規採用がありましたのでお知らせします。

砂山 晃司	綜成苑更生部生活支援員(正職員)	6月1日採用
半田 広子	綜成苑更生部生活支援員(正職員)	6月1日採用
田村 美佳	綜愛苑更生部生活支援員(正職員)	6月1日採用



お礼のご挨拶

平成26年11月、私がこの「綜成苑」の副苑長として着任してから、早いもので5年8ヶ月を経過しました。着任当時は、今まで生きてきた世界と全く違う「障害者福祉」という世界で福祉の「ふ」の字も理解しないまま、岩橋理事長の「うちへ来てくれへんか」の一言があったとはいえ、よくぞお引き受けしたものだとは後悔の念しきりでありました。その想いは、今でも変わりありません。

月日が経てば経つほど、様々な難問に直面し、自力で何ひとつ解決できない無能力さには、あきればかりでありました。したがって、ご利用いただいている皆様やその保護者の皆様方に満足いただける質の高い福祉サービスの提供ができてきているのか？と反省する日々でありました。

ただ、はっきり言えることは、職員のみんが日々ご利用いただいている方々のために、わが身を犠牲にしながら、献身的に支援・看護業務に当たっているという現実です。その心身両面にわたるご苦労をこの目でじかに感じとることができましたことは、私の残り少ない人生の中で大きな財産となりました。

私がこのたび、無事に退職を迎えることができたのも、岩橋理事長はじめ法人の役職員並びに本部職員の皆様方、特に「綜成苑」の職員のご支援・ご協力があったからこそであると深く感謝しているところであります。

最後になりましたが、ご利用者とその保護者の皆様方、岩橋理事長はじめ職員の皆様方のご健勝とご多幸、そして社会福祉法人「つわぶき会・哲人会」のますますの発展をご祈念申し上げ退職の挨拶といたします。

綜成苑 施設長 山崎貞一

このたび6月30日につわぶき会を退職させて頂くことになりました。平成26年11月に綜愛苑副苑長として採用され、伊藤苑長のあと苑長をさせていただきました。5年8ヶ月の間、理事長はじめ保護者の皆様方、職員の皆様にお世話になり、本当にありがとうございました。

振り返りますと、利用者の皆様と日々の活動を一緒に励んできたこと、苑外活動やピュアハートの皆様と様々な活動をし、楽しい時間を過ごせたことで、思い出をたくさんいただきました。

最近の国の取り組みは「障害者総合支援法」の施行や「障害者権利条約」の批准等、進展してきましたが、今日に至っても障害者の社会保障制度は、まだまだ十分なものとは言えない状況です。今後理事長を中心に保護者の皆様方と職員の皆様方が一体となって、利用者のためにご尽力くださることを期待しています。

最後になりましたが、つわぶき会のますますの発展と保護者の皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈りし、お礼の挨拶とさせていただきます。

綜愛苑 施設長 小松孝雄

支援員室だより

【 綜成苑 更生部 】

季節の変わり目ということで利用者さんと職員と一緒にわいわいと楽しみながら♪
玄関前の花壇の植え替えを行いました！

また、玄関ホールと中庭にテーブルを持って行きみんなで「喫茶活動」を行いました。
利用者さんが、エプロン姿で店員さんとなり飲み物の注文を聞いたり、コーヒーやジュースと一緒にドーナツを食べて、皆さん笑顔で楽しんで過ごされていました。



(綜成苑 更生部生活支援員 宮本了輔・吉田恵美)

【 綜成苑 授産部 】

暑くなってきましたが、苑では油断せずにコロナウイルス対策を継続しています。ご家庭でも引き続きご協力下さい。



自主製品のひとつであるきくらげの収穫作業を行いました。温室での栽培なので暑く、汗だくになりながら頑張っています。体にも良くヘルシーと好評です。「産直市場よって」で見かけましたら、ぜひ購入して頂いて味わってもらえたら、嬉しいです。

のぼり旗を目印にどうぞ！



(綜成苑 授産部生活支援員 木村美由紀)

【 綜愛苑 更生部 】

新型コロナウイルスの影響で外出も難しい中、多目的広場やハーブ園へ出掛けウォーキングなど運動に取り組んでいます。

また利用者さんが楽しんでもらえるようお楽しみ会が開催され、お菓子くい競争やヒットだ・ターゲットなどに参加し、沢山の笑顔が溢れていました。



(綜愛苑 更生部生活支援員 金井田香奈)

【 きらめき 】

毎日、梅雨でジメジメ… コロナ対策で制限もあり、イライラ… 皆様、いかがお過ごしでしょうか？

室内活動の増える中、皆で「はーとぎゃらりー」（和歌山市吹上1丁目）に展示する作品づくりに励んでおります。画用紙やおはな紙を使って朝顔や野菜、おはな紙を丸めて貼る七夕の絵や紙コップを使って七夕の飾りを作りました。各自、彦星&織姫の顔を描いてもらい、可愛い飾りがたくさん出来ました。٩('ω)('ω)٩

7/1 から展示していますので興味のある方は足をお運び下さいませ〜♪(。・。・。)



(綜愛苑 更生部生活支援員 前田美智子)

【 つつじが丘苑 】



コロナ自粛生活からの…梅雨入り。

雨の日が多く、気温差もあるので体調を崩しやすい時期に入りました(—_—)!!

つつじが丘苑では就職等にむけて人前で話せる練習の場として、毎朝利用者さんたちで朝礼、ラジオ体操、声だし（挨拶等）を行っています。朝礼当番をするのが苦手な利用者さんもいますが、回数を重ねてくると堂々と出来るようになると自信になって頑張っています。



(つつじが丘苑 生活支援員 岡崎理絵)

【 T-JOB 】

調理を通じて健康について考え、季節感を感じていただける支援を行っています。

今回は「アスパラガス」をメインの具材に使った料理をすることとなり、各グループ工夫しながら様々な献立を考え、調理に取り組みました。調理行程を各利用者さんに分担して取り組んでいただき、調理を楽しみながら美味しい料理ができました。



利用者さんの就労へのイメージをより高めていただくために、和歌山市吐前にある岩崎運送さんに見学に行ってきました。トラックから降ろされてきたプラスチックのコンテナから貼られてあるシールをはがし、それらを洗浄するため洗浄機のラインまで運び洗浄機の操作、洗浄後のコンテナの整理を行う仕事を見学しました。参加された利用者さんは事業所の担当の方からの説明を一生懸命聞いていました。今後は参加された利用者さんの意向を聞き取りながら実習や職業体験につなげていきたいと思えます。



(T-JOB サービス管理責任者 石関良充)

移動支援について

移動支援とは、屋外での移動が難しい障害児者が余暇活動等の社会参加及び社会生活を営むうえで必要な外出を支援することで地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的としています。

今回、和歌山市では今までになかったグループ支援型ができました。これは利用者1名に対してのマンツーマンによる支援ではなく複数の利用者に対してヘルパーが支援します。



ただし、ヘルパーに対する利用者の比率は3倍以内です。(ヘルパー：利用者＝1：3まで)

安全性の確保のため実施の際には以下の①～③の要件を満たす必要があります。

- ①グループに派遣されるヘルパーに、利用者全員に対する個別支援型での派遣の経験が必要です。
- ②ヘルパー1人当たりが対応できる利用者の人数は「3人まで」です。
- ③1グループにつきヘルパー2人以上を派遣する。

【例】 ○ ヘルパー2人⇔利用者3～6人 × ヘルパー1人⇔利用者2人

グループ全員が集合した時点から支援開始です。そのためグループ支援型に限っては、現地集合・現地解散を可能です。また、その際に、集合場所までは個別支援型を利用することもできます。

障害種別や身体介護の有無による制限はないのですが未就学児は利用できません。小学生以上の方は障害特性や心身の状況等から、安全な支援が可能と判断した場合だけ利用できます。

1か月で利用できる時間の上限

- ・障害者(18歳以上) 20時間/月
 - ・障害児(中学生以上) 15時間/月
 - ・障害児(小学生) 10時間/月
 - ・障害児(3歳以上の未就学児) 5時間/月
 - ・グループホームの入居者は年齢に関わらず 10時間/月
- ※支給された時間数の中で、個別支援型とグループ支援型を使い分けることができます。



移動支援のご利用に関して、ご相談があれば各担当の相談支援専門員までご連絡をください。

(つわぶき相談事業所 所長 熊井利将)